https://doi.org/10.32283/rep.dc1e598b

『看護系大学に関する実態調査』の活用に関する調査報告書

日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会では、2018 年度より、それまで別々に実施していた調査について、『看護系大学に関する実態調査』として協働実施しています。

この目的は、実態調査の活用状況や調査への期待を明らかにして、実態調査の結果や収集したデータの効果的な活用方策を検討することです。また、活用目的や期待に照らして、効率的に情報を収集し、調査による負担の軽減策も検討していきたいと考えております。調査対象校は日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会会員校の 302 校とし、調査期間は 2021 年 9 月 15 日から 10 月 5 日としました。
国立大学 23 校、公立大学 36 校、私立大学 116 校、短期大学 3 校合計 178 校から有効回答があり回答率は 58.9%でした。

【調査結果】

問 1　貴学の設置主体についてお伺いします。

国立大学（省庁大学校も含む）・公立大学・私立大学・短期大学

設置者別

設置者	回答校(校)	回答率(%)
国立(N=44)	23	52.3
公立(N=50)	36	72.0
私立(N=198)	116	58.6
短期大学(N=10)	3	30.0
合計(N=302)	178	58.9

問 2　これまでに実態調査の結果を大学の運営・経営等に活用した経験の有無についてお答えください。活用した経験がある場合には、その活用内容について、主なものを活用目的別に 3 点以内であげてください。

設置者別の有無

設置者	国立(N=23)		公立(N=36)		私立(N=116)		短期大学(N=3)		全体(N=178)	
有無	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない
回答数（校）	8	15	28	8	56	60	1	2	93	85
割合（%）	34.8	65.2	77.8	22.2	48.3	51.7	33.3	66.7	52.2	47.8

活用した内容の目的の回答は、延べ 177 件であった。活用目的の内訳は、大学評価・自己点検（55 件）、教育・研究支援の取組に活用（26 件）、実習施設等・実習謝金・学生への補助費（20 件）、実態の確認（19 件）、人事、教員配置数（14 件）、大学院設置準備（15 件）、入試制度の検討(10 件)、予算編成（7 件）、大学運営（6 件）、障害のある学生への合理的配慮（2 件）、他学部との交渉（1 件）、ハラスメント対策（1 件）、科研費申請の重要性の啓蒙（1 件）

設置者別活用した構成番号の数

実態調査の構成番号	国立	公立	私立	短大	合計
1．看護系学部・学科について（卒業生、編入制度の有無、全教員数と男女比、年齢構成別教員数、等）	6	16	42	1	65
2．看護系大学院について（大学院の有無、科目別履修制度の設置、専任教員数、等）	5	17	37	0	59
3．看護系大学学部・学科、大学院の学生情報について（在学学生数、教員一人あたり平均学生数、等）	6	21	47	0	74
4．看護系大学学部・学科、大学院の入学状況	5	19	41	0	65
5．看護系大学学部・学科、大学院の卒業生・修了生の状況	6	13	31	0	50
6．看護系大学学部・学科、大学院の卒業生・修了生の就職・進学の状況	4	12	28	1	45
7．教員の研究活動および社会貢献について（研究費の取得状況、公開講座、等）	0	13	36	0	49
8．FD・SD の開講状況	0	3	38	1	42
9．教員および学生の評価について（学生の授業評価の実施状況、GPA や CAP の導入状況、等）	3	7	33	1	44
10. 看護関連の附属施設について（看護関連の研修事業/附属施設・研究機関の有無、等）	2	2	18	0	22
11. 国際交流の状況について（協定校・施設の有無、在学生の留学先、教員の海外派遣と公費補助、等）	1	3	15	0	19
12. ハラスメント、コンプライアンスに関する取り組みについて（専門委員会の有無、事例、利益相反、等）	0	2	22	0	24
13. 学修支援などについて（障がいのある学生への支援等、入学前教育（対象者、学習形態、実施体制等））	0	5	29	0	34
14. 大学と実習施設等の教育連携について（実習施設等との共同研究・研修、臨地実習の問題・課題、等）	1	11	38	1	51
15. 保健師、助産師および養護教諭の教育課程について（各教育課程の有無、定員数、実習の課題、等）	2	5	28	0	35
16. 大学、大学院の教育運営経費等について（初年度学納金、独自の奨学金、学内研究費、等）	0	2	25	0	27
17. 看護師養成のための実習経費等について（平均施設数、平均非常勤等数、実習委託料、学生への補助、等）	0	5	38	0	43
18. 保健師養成のための実習経費等について（平均施設数、平均非常勤等数、実習委託料、学生への補助、等）	1	3	31	0	35

19. 助産師養成のための実習経費等について（平均施設数、平均非常勤等数、実習委託料、学生への補助、等）	1	4	13	0	18
20. 養護教諭Ⅰ種養成のための実習経費等について（平均施設数、実習委託料、学生への補助、等）	0	1	11	0	12
21. 看護系の学部・学科、大学院の TA・RA について（TA・RA 年間総人数・年間総勤務日数・給与額）	0	1	12	0	13

問3　実態調査の結果の活用の有無にかかわらず、今後の活用について伺います。
今後、大学の運営・経営等に活用していきたい/活用できそうである、実態調査の結果を3点以内であげてください。

今後、大学運営・経営等に活動していきたい/活用できそうである実態調査の結果についての回答は、延べ285件であった。内訳は、自己点検・認証評価（41件）、大学運営・経営（40件）、教育評価、教育課程の検討（36件）、実習施設・実習費用の検討（35件）、人事採用要件・教員配置（26件）、学生の評価（21件）、国際交流（17件）、大学院設置の参考データ（16件）、FD・SD（12件）、入試・編入・学生募集（12件）、社会貢献、（9件）、研究支援、研究経費獲得（7件）、障害学生支援（7件）メンタルヘルス・ハラスメント・コンプライアンス対策（6件）であった。

設置主体別の活用していきたい・できそうである実態調査の構成番号の数

実態調査の構成番号	国立	公立	私立	短大	合計
1．看護系学部・学科について（卒業生、編入制度の有無、全教員数と男女比、年齢構成別教員数、等）	16	84	69	0	169
2．看護系大学院について（大学院の有無、科目別履修制度の設置、専任教員数、等）	17	62	52	0	131
3．看護系大学学部・学科、大学院の学生情報について（在学学生数、教員一人あたり平均学生数、等）	14	90	74	4	182
4．看護系大学学部・学科、大学院の入学状況	10	85	72	3	170
5．看護系大学学部・学科、大学院の卒業生・修了生の状況	11	69	62	2	144
6．看護系大学学部・学科、大学院の卒業生・修了生の就職・進学の状況	8	74	64	2	148
7．教員の研究活動および社会貢献について（研究費の取得状況、公開講座、等）	10	87	74	6	177
8．FD・SD の開講状況	9	84	71	5	169
9．教員および学生の評価について（学生の授業評価の実施状況、GPA や CAP の導入状況、等）	12	83	71	6	172

10. 看護関連の附属施設について（看護関連の研修事業/附属施設・研究機関の有無、等）	6	42	39	3	90
11. 国際交流の状況について（協定校・施設の有無、在学生の留学先、教員の海外派遣と公費補助、等）	12	56	48	5	121
12. ハラスメント、コンプライアンスに関する取り組みについて（専門委員会の有無、事例、利益相反、等）	7	43	36	1	87
13. 学修支援などについて（障がいのある学生への支援等、入学前教育（対象者、学習形態、実施体制等））	9	63	56	5	133
14. 大学と実習施設等の教育連携について（実習施設等との共同研究・研修、臨地実習の問題・課題、等）	10	82	71	4	167
15. 保健師、助産師および養護教諭の教育課程について（各教育課程の有無、定員数、実習の課題、等）	8	53	49	2	112
16. 大学、大学院の教育運営経費等について（初年度学納金、独自の奨学金、学内研究費、等）	6	60	56	4	126
17. 看護師養成のための実習経費等について（平均施設数、平均非常勤等数、実習委託料、学生への補助、等）	10	66	58	6	140
18. 保健師養成のための実習経費等について（平均施設数、平均非常勤等数、実習委託料、学生への補助、等）	10	56	49	3	118
19. 助産師養成のための実習経費等について（平均施設数、平均非常勤等数、実習委託料、学生への補助、等）	9	38	31	1	79
20. 養護教諭Ⅰ種養成のための実習経費等について（平均施設数、実習委託料、学生への補助、等）	4	28	25	0	57
21. 看護系の学部・学科、大学院の TA・RA について（TA・RA 年間総人数・年間総勤務日数・給与額）	5	37	30	1	73

問4　『看護系大学に関する実態調査』の結果や収集したデータの効果的な活用方策について、その他意見がございましたら入力してください。

○活用したことがあると答えた大学の意見

設置者	意　　見
国立大学	教員数の増員の必要性について
公立大学	実習費の情報などホームページなどでは得られない情報を是非提供してもらいたい。自由記載は非常に参考になります。
公立大学	コロナによるオンライン教育の方法と内容の実態調査は参考なった。他大学との連携、単位互換、大学間での教員の有効活用の実態等の情報提供を期待する。
公立大学	DP,CP への反映

公立大学	看護系大学における様々な実態が見えて貴重な資料だと考える
公立大学	構成番号②の 17～19 について、非常勤教員についてのみで常勤教員が含まれておらず、大学によって雇用形態（非常勤・常勤の雇用比率）が異なるため、他大学との比較が難しい。
公立大学	国立大学のみ別掲とされている質問項目について、公立大学も別掲にしていただきたい。
私立大学	看護系大学の質の向上のため文部科学省や厚生労働省、他の重要関連機関との連携・相談
私立大学	臨地実習においては、教員が必ず在中することが求められていますが、限界を感じます。教員の役割としての「講義」「講義準備」「委員会活動」「学生指導」「実習指導」の割合を把握し、文部科学省に実態を把握していただきたい気持ちがあります。
私立大学	コロナ禍での取り組みについて、新しい問いがあると良いと思います。
私立大学	看護系教員の施設ごとの割合、充足率
私立大学	①分析時、国公立・私立の他、大学規模別の分析もあるとありがたいです。総合大学、単科大学、医療系大学　など
私立大学	あらゆる大学運営において全国の傾向を知る事ができるので役立っている。特に、コロナ禍での授業形態、実習形態に関してご父兄への説明に全国との比較で説明できるので大変有効である。
私立大学	教員の教育学に関する学習状況、取得学位の領域など教員の質評価に関する実態を知りたいです。
私立大学	「効果的な活用」をするためには、「信頼性のあるデータ」が重要です。それには入力方法を工夫する必要があります。１番のデータは最も重要であるにもかかわらず、入力は入力者の理解により、いかようにも解釈される方法であるようで、現在のデータは「どう考えても重複して入力しているであろう」「どう考えてもおかしい」と複数で見てもそう考えられ、結局、「信ぴょう性が薄いので使えない」と複数の人による結論でした。問われていることが、記入者に明確に通じるように、回答の仕方について調査票の工夫が必要ではないでしょうか。また、調査者は、時々、結果を分析して「おかしい」データについては、調査者以外のプレテストもお願いするなど、できるだけ「妥当な」「信頼性のある」データ収集をお願いします。
私立大学	ＩＲとの連携に活用

〇活用したことがないと答えた大学の意見

国立大学	各大学での取り組みに活かすというより、看護教育の在り方や看護系大学の教員の在方などを考え、発信する基礎資料となればよいと思う。

国立大学	看護系大学のすべての情報が網羅されるのは難しいと思う。各大学の HP の充実や、教員業績の公開や多くが使用している Research Map の充実の促しなどを進めてほしい。このデータの蓄積だけでなく、これを使って、分析をしてほしい。例えば、教員数の減少傾向はこの十年の蓄積データで、分析できるのではないか。科研費データは、JSPS が持っているわけで、JANPU が持たなければならないデータ、どこにアクセスすればデータは得られるのか、それを整理して会員校に提供するという考え方でいいのではないか、そのためには data science につよい人材が必要ではないか。
国立大学	膨大な調査結果をコンパクトにご報告いただきありがとうございます。より分かりやすく結果を示すためグラフや図式化して情報発信するとよいのではと思います。また、実態調査を活用して成果？を挙げた事例を紹介していただくのもよいと思います。
私立大学	本アンケートを機に、調査項目を精選していただきますようお願いいたします。
私立大学	それぞれの大学が実態調査データをどのように活用しているのか？実態調査の依頼時に前回の調査結果をその都度、ご提供頂けますとより効率よく、効果的に活用できるものと思います。 また、問題、課題が解決できないところへのご支援についても、ご検討頂ければ幸いです。
私立大学	回答負担が大きすぎる。今回の活用実態をもとに調査項目をもっと精選して欲しい。

https://doi.org/10.32283/rep.dc1e598b